

■田中正平 物理学者、音楽研究家。ドイツ留学中、純正調オルガンを発明、皇帝から絶賛され、帰国後も邦楽研究ほかの業績。

たなかしょうへい

生麦事件・・1862＝ 淡路国三原郡賀集村で生まれる。

人形浄瑠璃の盛んな淡路島の音楽環境に育ち、

大政奉還・・1867＝ 5歳：

明治維新・・1868＝ 6歳：

廃藩置県・・1871＝ 9歳：

明治6年政変 1873＝11歳：

教育熱心だった父の勧めで、

第三高等学校を経て、

大久保暗殺・1878＝16歳：

最年少で東京大学理学部物理学科に進む。お雇外国人教師ドイツの物理学者メンデンホールが'物理を学ぶ者は音楽を知らねばならぬ'と授業の合間にオルガンを弾くのを、同期の田中館愛橘らと聞く。

・・・・・1880＝18歳：

明治14年政変 1881＝19歳：

新体詩抄・・1882＝20歳：

首席で卒業。森鷗外・穂積八束ら他学科の俊秀とともに、文部省からドイツ留学に派遣されと、ベルリン大学の世界的物理学者ヘルムホルツに師事、日本での音楽の将来について尋ね、"純正調"を教えられ、

内閣発足・・1885＝23歳：

留学期間が終えても、帰国して教授になるのを断り、特例で延期されたが、

帝国大学始・1886＝24歳：

その期限が過ぎててもなお、私費でドイツに留まり、"純正調"の研究にのめり込んで行き、

帝国憲法発布 1889＝27歳：

ヨーロッパ最大のオルガンメーカー{ヴァルカー社}に依頼して、"純正調"リード・オルガンを製作し、

帝国議会始・1890＝28歳：

*「純正律の研究」でドイツからドクトルの学位。皇帝ウィルヘルム2世の前で演奏し、

足尾鉾毒始・1891＝29歳：

今世紀最大の発明との勅書と製作助成金が授けられる。日本にも伝わって、理学博士号、

大本教・・・1892＝30歳：

明治天皇から内帑金が下賜され、旧徳島藩主からも金が贈られ、純正調パイプ・オルガンを完成。ドイツで発刊された雑誌{音楽界}でも評価され、欧州最高のバイオリンの名手といわれたヨアヒムが突然訪問してくるなど、欧州の音楽界に波紋を広げる。

郡司千島探検 1893＝31歳：

*日本の帝国議会で補助金を与えるという追加予算案まで成立。皇帝主催の純正調オルガン披露コンサートに主賓として招かれ、大成功。

日清戦争始・1894＝32歳：

子規句歌革新 1898＝36歳：

Bushidou・・1899＝37歳：

*16年ぶりに帰国、日本鉄道株式会社に入社。同時に、自宅に邦楽研究会を設け、洋楽一辺倒のなか、邦楽の価値を訴えるべく一流演奏者を集めて{美音会}を結成、以後、定期的に演奏会を開催。帰国に際し携えてきた純正調の小型オルガン1台は、戦争に浮かれ始めた日本人から目を向けられること無く、東大の物理学教室に置かれたまま忘れられて行く。

日露戦争終・1905＝43歳：

信号保安装置の考案や通過信号の実現など、鉄道技術にもその才能を遺憾なく発揮、名古屋商工会議所で「高速度列車に就いて」講演。

韓国反日暴動 1907＝45歳：

鉄道調査所の技師に就任。

韓国併合・・1910＝48歳：

{美音会}を多年に渡り開き続けて、その都度詳細な楽譜を作成し、長唄・小唄など邦楽のあらゆる分野の家元や師匠を招いて採譜するなどして邦楽研究、

大逆事件判決 1911＝49歳：

勲四等瑞宝章。訪独した伊藤博文がヴィルヘルム2世謁見の際、田中正平がどうしているか聞かれるも、名前すら知らずに赤面したらしい。

明治天皇没・1912＝50歳：

所長に昇進。

第一次大戦始 1914＝52歳：

民本主義・・1916＝54歳：

本格政党内閣 1918＝56歳：

この間、開発した新型の連動装置は、当時としては画期的な設計で、鉄道技術界の話題をさらい、ドイツの規格を参考に、鉄道安全運行の規格の統一に貢献。動力が蒸気から電力に切り替わるにも大きな役割を

原敬首相暗殺 1921＝59歳：

治安維持法・1925＝63歳：

退官後は{田中電機研究所}を設立、鉄道用信号装置などの多くを発明しつつも、前述の美音会など音楽振興に尽くし、当時の社団法人日本音楽協合理事長、文部省国民精神文化研究員所員も囑託された。

世界恐慌・・1929＝67歳：

{田中電機研究所}から「田中式乗除速算表」、

満州事変・・1931＝69歳：

五一五事件・1932＝70歳：

「新考案乗除筆算法」を出版。

帝人疑獄事件 1934＝72歳：

日中戦争始・1937＝75歳：

雑誌{放送}に寄稿。

健保+総動員 1938＝76歳：

朝日文化賞

大政翼賛会・1940＝78歳：

この頃、東京音楽学校の校長就任を打診され、邦楽科設置を条件としたため、実現せず、

日米開戦・・1941＝79歳：

邦楽研究の集大成となる「日本和声の基礎」を出版。

創価学会検挙 1943＝81歳：

太平洋戦争が始まると、東京高輪の邸宅を手放して、千葉県千代田村に疎開し、

敗戦・・・1945＝83歳：

病没した。

産経「日本人の足跡3」、インターネット、